

2025年

2月



節分 とは？

今年は2月2日が節分です。
節分は「一年間健康に過ごせるように」という願いを込めて「悪いもの」を追い出す行事とされています。
また、「鬼は外、福はうち」という言葉を使いますが、これは病気や災害という予期せぬ出来事を鬼として払い、幸運を入れることを目的としています。



なぜ鬼に豆をまくの？



昔は、自然災害や疫病、飢餓などの不幸な出来事の原因を「鬼の仕業」ととらえていました。それらの不幸な出来事を鎮めるために行われたのが節分の鬼払いです。
鬼払いに豆が用いられるようになった理由には諸説ありますが、古来より「米・麦・ひえ・あわ・豆」の五穀には、穀霊と呼ばれる精霊が宿るとされていました。五穀のなかでもっとも粒の大きな豆が、鬼を払うのに最適と考えられたようです。また、「魔を滅する（魔滅＝まめ）」という言葉の響きから、語呂合わせで豆を用いるようになったとの説もあります。

節分の豆まきの決まりごととは？

①豆まきには炒り豆を使用する。

豆まきには炒り豆を使うのが一般的です。生の豆をまき、拾い忘れた豆から芽が出ることは縁起が悪いとされていることから、芽が出ないように炒った豆を使うようになりました。

②豆まきの時間帯は？

本来であれば豆まきは、鬼がやってくる丑寅の刻（午前2時から午前4時）に行うのが良いとされています。ただ、深夜に当たるため、現代ではもう少し早めの時間に豆まきを行うのが一般的です。夕食の前後や、家族みんなが揃っている時間帯に行うのが良いとされています。

③節分に食べる豆の数は？

豆まきのあとに食べる豆の数には一般的に2つの数え方があります。

1.年齢と同じ数だけ食べる

→年齢と同じ数の福を迎えるように願う

2.年齢と同じ数に1粒加えて食べる

→新年（立春のあと）の無病息災もあわせて願う

年齢は「数え年」が一般的でしたが、最近では「満年齢」を基準にすることが多いようです。



注意

節分豆による子どもの窒息、誤嚥事故が多発しています。5歳以下の子どもには気をつけて食べさせるようにしましょう!!